

インド・ラムキーグループと市内企業の連携が加速！ ～新たな環境国際ビジネスについて市長報告します～

- ◆ 北九州市は昨年9月、インドの最大手環境産業企業であり、他国でも展開するラムキーグループと包括的な連携協定を締結し、市内環境関連企業の海外展開を支援しています。
- ◆ この協定に基づき、市内環境関連企業のアミタグループがインドやシンガポール等で新たな環境国際ビジネス創出に向けてラムキーグループと連携することになり、両グループが武内市長に報告します。
- ◆ なお、こうした企業間の連携に加え、北九州市は今年度から、市内企業やラムキーグループ等と共同で、インドでのエコタウン整備に向けた事業可能性調査に着手します。

市長面会の概要

- 日時 令和6年5月22日(水)14:30～14:50
- 場所 北九州市役所 本庁舎5階 第一応接室
- 面会者 リ・サステナビリティ社（ラムキーグループ環境部門）
社長 マスード・アラム・マリック
ラムキーグループ日本法人・P9合同会社
日本代表 松野 小百合（まつの さゆり）
アミタホールディングス(株)
代表取締役社長 兼 CI00 末次 貴英（すえつぐ たかひで）
アミタ・サーキュラーデザイン(株)
代表取締役社長 大和 英一（やまと えいいち）
- 内容 両社の連携内容の報告、歓談、記念撮影

<アミタグループの事業展開>

アミタグループは、市内で産業廃棄物の100%再資源化事業を行っています。

その知見を活かし、マレーシア等において、現地企業と連携して廃棄物のセメント原燃料化などの脱炭素・循環型経済に向けたプロジェクトを行っており、北九州市も支援しています。

<ラムキーグループと市内企業との連携>

協定に基づくラムキーグループとの企業連携案件は昨年12月の(株)西原商事ホールディングスに続き2件目です。

【問合せ先】環境局環境国際戦略課
担当課長：火箱、担当係長：勝原
TEL:093-662-4020

参考:企業概要

【ラムキーグループ】

環境と経済の両立を図るプロジェクトの開発に注力し、都市開発等のインフラ整備部門と廃棄物処理等の環境産業部門におけるインドの主要企業の一つ。

ラムキーグループはインドでのリサイクル団地(エコタウン)の整備を目指しており、北九州市のエコタウンや海外展開の取組の紹介等を通じて、本市及び市内企業が持つ技術やノウハウを活用したいとの意向があり、昨年9月に北九州市に法人設立、本市と包括連携協定を締結。

創業者	アヨディヤ・ラミ・レディ・アラ(インド上院議員)		
本 社	インド・ハイデラバード市	設 立	1994年4月
事業内容	・インフラ整備:住宅、都市開発、道路、鉄道、工業団地整備・運営等 ・環境産業:廃棄物の収集運搬・処理施設建設・運営等 ・その他、製薬、コンサルティング等		
事業拠点	インド、シンガポール、サウジアラビア、UAE、オマーン、米国等		
売上高	13億米ドル(約1,800億円)	従業員数	約25,000人

*リ・サステナビリティ社【環境産業】

インドの産業廃棄物部門では最大手(インドの産業廃棄物処理量の約60%)

【ラムキーグループ日本法人 P9(ピーナイン)合同会社】

代表者	松野 小百合		
本 社	北九州市小倉北区(COMPASS 小倉)	設 立	2023年9月
事業内容	企業の海外展開支援(技術提携等)、海外の環境人材育成、人材派遣、プロジェクト組成等コンサルティング、環境関連技術の研究開発、環境事業等への投資		

【アマタホールディングス(株)】

代表者	代表取締役会長 兼 CV0 熊野 英介 代表取締役社長 兼 CI00 末次 貴英		
本 社	京都市中京区	設 立	2010年1月
事業内容	・企業・地域の持続的な経営への移行・変革、循環型事業のコンサルティング ・環境認証審査(森林資源・水産資源に関する国際エコラベルの認証審査) ・海外事業 <北九州市関連事業> ◆北九州循環資源製造所(北九州エコタウン企業) ・2010年6月 稼働開始(廃棄物からのセメント原燃料化) ・2018年11月 シリコンリサイクル事業を開始 ◆海外事業 ・マレーシア、インドネシア、インド、パラオにおいてセメント原燃料化など脱炭素・循環型経済に向けたプロジェクトを本市と連携して実施		
事業拠点	東京都、京都府、北九州市 マレーシア(海外統括会社) 等	従業員数	グループ全体で 240名

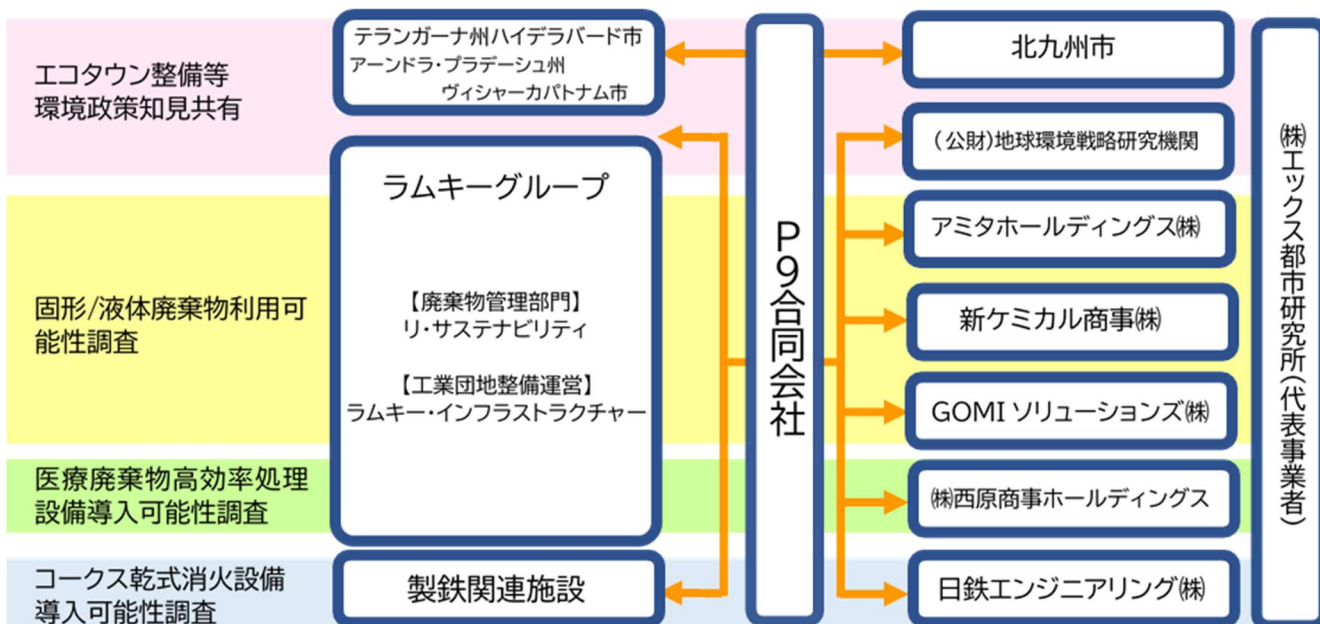
インドにおける脱炭素・循環型エコタウン整備推進事業 (環境省委託業務:令和6年度 脱炭素社会実現のための都市間連携事業)

1 実施者

北九州市、(公財)地球環境戦略研究機関、(株)エックス都市研究所、
アマタホールディングス(株)、新ケミカル商事(株)、GOMI ソリューションズ(株)、
 (株)西原商事ホールディングス、日鉄エンジニアリング(株)、
 テランガーナ州、インド・ラムキーグループ、P9 合同会社(ラムキーグループ日本法人)、

2 事業概要

北九州市が連携協定を締結し、インド全土で廃棄物処理事業を展開するラムキーグループと連携して、同グループが拠点を持つインド・エコタウン候補都市(テランガーナ州ハイデラバード市、アーンドラ・プラデーシュ州ヴィシャーカパトナム市)を対象に、北九州市及び北九州市内企業が有する①廃棄物再資源化、②再エネ利用、③省エネ設備の導入、④市民啓発等に関する技術やノウハウを活かした、インドにおける脱炭素・循環型エコタウンの整備を目指し、事業可能性調査を実施する。



3 インド・ハイデラバード市、ヴィシャーカパトナム(バイザック)市について



【ハイデラバード市】

- ・人口:約 700 万人、面積:約 260 km²
- ・テランガーナ州の州都
- ・インド第5の都市、インド第2の IT 産業都市

【ヴィシャーカパトナム市】

- ・人口:約240万人、面積:約 540 km²
- ・アーンドラ・プラデーシュ州の最大都市
- ・インド東海岸(ベンガル湾)に面した港湾都市
- ・工業都市(製鉄等)